



学校安全教育指導者研修会を開催しました

9月に5つの各教育事務所を会場に、交通事故を未然に防ぐため、交通安全教育について教員の指導力向上を図る学校安全教育指導者研修会を開催しました。

講師を務めていただいた東北工業大学の小川和久教授からは、児童生徒がいかに自分事として交通安全について考え、行動できるかがポイントとされておりました。

交通安全のマップ作りや、ミラーリングの手法などを取り入れ、自分の行動を振り返るきっかけとすることにより、主体的に安全な行動が取れるようになるということです。

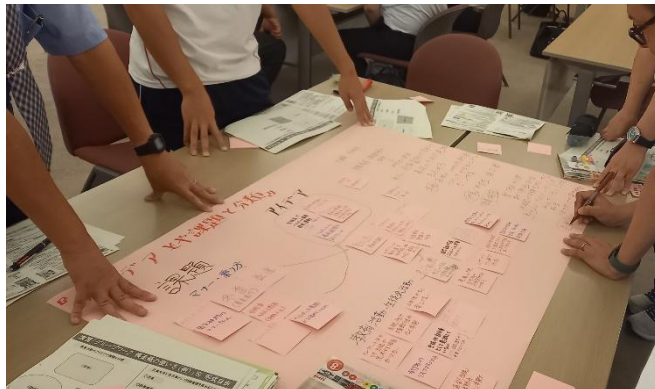
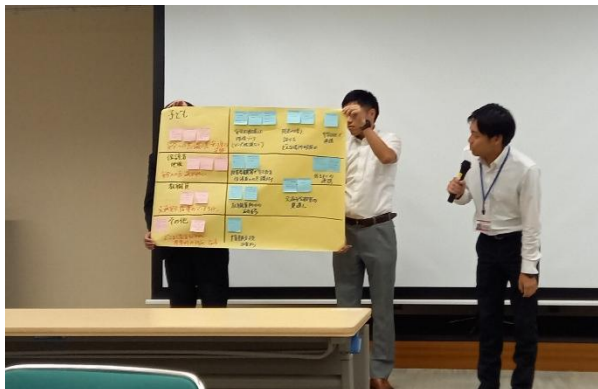
道路交通法が改正され、自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務化されても、なかなか着用が定着しない背景に、「自分は事故に遭わない」という正常性バイアスが働いているのではないのでしょうか。

県立学校では、自転車による通学時の交通事故が、昨年度の同時期に比べて約1.5倍のペースで発生しています。今後、青切符の導入で罰則が強化されるからではなく、自分の命を守る行動を主体的に取ることができるよう、各学校においてそのきっかけとなる取組を進めていただきたいと思います。

裏面に交通安全教育の参考資料を紹介しております。是非ご覧いただき、児童生徒等の実態に合わせてご活用ください。

本研修会のグループ演習で話し合われたアイディアの一例

- 生徒会主催のヘルメット着用啓発運動（例：ポスターコンクール、デザインコンテスト）
- 校内版ヒヤリハット動画（事例集）を生徒会中心に作成
- 車の運転手目線の動画作成
- 高校生によるプレゼン動画
- ヘルメット着用週間を設けてヘルメット着用の習慣化
- Google マップを活用した交通安全マップ作り
- 交通安全カルタを作成し、幼稚園児と交通安全交流
- 関係機関との連携（ポリスサポーター、ボランティア見守り隊、PTA等）



交通安全教育参考資料の紹介

○「正しい横断歩道の渡り方（幼児向け）」

＜県警察本部交通企画課HP（動画：約6分）＞

- ・悲惨な交通事故から将来を担う大切な子供を守るための啓発動画



○「クイズでまなぼう！たいせつないのちとあんぜん」（文部科学省作成）

- ・安全に関する学級での指導や家庭での話し合いなどの取組を支援するため、小学1年生に対して配布するリーフレット



○『サイン・サンクス運動～車への渡る「合図」と「ありがとう」～』

＜県警察本部交通企画課HP（啓発チラシ）＞

- ・信号機のない横断歩道利用時における手上げによる横断の意思表示（サイン）と停止車両に対する感謝の意思表示（サンクス）の啓発を促すチラシ



○内閣府「中学生・高校生向け 自転車交通安全講座」

- ・自転車安全利用五則、自転車事故で問われる責任、事故時の正しい対応を解説したパンフレット



○警察庁「自転車を安全・安心に利用するために」

- ・自転車への交通反則通告制度（青切符）における指導取締りの基本的な考え方についてまとめた自転車ルールブック



○「自転車は車のなかま～子供から大人まで安全運転5つのルール」

＜政府インターネットテレビ（動画：3分）＞

- ・加害者、被害者にならないために、安全運転5つのルールを紹介



○「反射材用品等の効果」

＜県警察本部交通企画課HP（動画：5分）＞

- ・夕暮れ時や夜間における反射材用品等の効果について解説



秋の行楽シーズン・・・クマ出没警報継続中！

《10月31日（金）まで期間延長》



県に寄せられたツキノワグマ目撃等情報では、過去5年の平均と比べて出没率が高い状況です。人間にとって秋の行楽シーズンは、クマにとっては冬眠前の脂肪を蓄える時期でもあり、多くのエサを求めて、人里におりてくることもあります。クマ鈴やラジオを鳴らす、多人数で行動する等ツキノワグマと遭遇しにくい対策をとり、引き続き注意して行動しましょう。